

報道各社の皆様への研究成果のご紹介

発注のタイミングを知らせて欠品トラブルを防ぐ！

産業技術総合センター 生産システム部

日 時 令和7年9月9日（火）13：10～14：10

場 所 県庁3階 会議室303

（発表の内容）

県産業技術総合センター（関市）と鍋屋バイテック会社 美濃工園（本社：関市）は、物品の在庫数を把握し欠品の発生を抑制するため、在庫数の変化を逐次把握し、発注が必要な場合には管理者に知らせる「物品管理システム」を開発しました。

従来の「カンバン方式」による物品管理では、在庫数の把握や入出庫管理が難しく、欠品トラブルや在庫のムダが発生していました。そこで、データ管理によりペーパーレスかつ、需要の変動に対応した入出庫の管理、発注点の判定と通知を行うことができるシステムを開発しました。

現在、共同開発企業にて運用中の本システムについて、製造現場でのシステムの動画やアプリケーションの動きを交えながら紹介します。

現状の課題

「カンバン方式」による物品管理では、カンバンの入力誤りや作成忘れ等の人為的なミスやタイムラグにより、在庫数の把握や入出庫管理が難しく、欠品トラブルや在庫のムダが発生

課題解決技術

- MZプラットフォーム（（国研）産業技術総合研究所 開発）とデータベース管理技術を活用した物品管理システムを開発
- 物品の出し入れ時に、在庫数の変化を逐次把握し、発注が必要な場合には管理者に通知する機能等を開発

物品管理システム

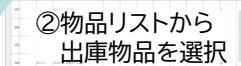
在庫数と使用数のデータ管理が行え
在庫のムダに気付くことができる

⇒ コスト削減 につながる

①出庫物品の分類を選択



②物品リストから出庫物品を選択



照会

③出庫数を入力
減数処理

品名	部品	メーカー	品番	数量	材料	カラー	サイズ	電	高	幅	奥	重	単価
240	TRI-0001	CASE	TRI-0001	1								250円	
244	TRI-0001	TRI-004	TRI-004	5									

更新

④発注点の自動判定

「見える化」により置き場まで行かずとも
使用者・管理者共に
状況が一目でわかる

⑤-A 発注依頼通知

在庫が発注点を切りました！
管理者へ発注を依頼しました。

登録

⑥発注

⑦納品

⑧入庫数を入力
増数処理

⑨出庫完了通知

出庫が完了しました。

※入力した数値の備品をお持ちください。

⑩発注のタイミングがわかり
欠品の発生を抑制

MZプラットフォーム
システム開発技術



「物品管理システム」を用いた物品管理の流れ

自社開発によりシステムのメンテや改良を社内で対応 → コスト削減 設計変更や需要の変化に対応

問合せ窓口：産業イノベーション推進課 内線3743 産業技術総合センター Tel 0575-29-7159

イノベーション推進係長 木村
イノベーション推進係 平光

生産システム部長 久富
主任専門研究員 曽賀野